



# 第22回 一般社団法人 日本外傷歯学会 総会・学術大会

—— プログラム・抄録集 ——

The 22th Annual Meeting of Japan Association of Dental Traumatology

**大会テーマ** 外傷後のリハビリテーション  
～ オーラルリハビリテーションを再考する ～

**会期** 2022年7月15日(金)～8月15日(月)【オンデマンド配信】

**会場** オンライン(WEB)開催

**大会長** 河合 毅師 (神奈川リハビリテーション病院歯科口腔外科・関内馬車道デンタルオフィス)

**準備委員長** 塚本 亮一 (日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座・プラムデンタルオフィス)

**事務局長** 駒井 啓一 (啓歯産業・新東京歯科技工士学校)







# 第22回 一般社団法人 日本外傷歯学会 総会・学術大会

## プログラム・抄録集

大会テーマ

『外傷後のリハビリテーション  
～オーラルリハビリテーションを再考する～』

会 期：2022年7月15日(金)～8月15日(月)

開催形式：オンライン(WEB)開催

大会長：河合 毅師 (神奈川リハビリテーション病院歯科口腔外科・関内馬車道デンタルオフィス)

準備委員長：塚本 亮一 (日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座・プラムデンタルオフィス)

事務局長：駒井 啓一 (啓歯産業・新東京歯科技工士学校)





# ご挨拶



第22回 一般社団法人 日本外傷歯学会総会・学術大会

大会長 河合 毅師

(神奈川県リハビリテーション病院歯科口腔外科・関内馬車道デンタルオフィス)

このたび2022年7月16日(土)から8月15日にかけてWEB開催(オンデマンド)にて、第22回日本外傷歯学会総会・学術大会を開催させて頂くこととなりました。当初は神奈川県歯科医師会館にて行う予定であった本学会ですが、新型コロナウイルスのパンデミックにより本年2月にWEB開催へ切り替えることとなり、7月16日から8月15日までのオンデマンド配信で開催させていただくことになりました。本学会理事長の木村先生をはじめ、関係各位の先生方のご理解とご支援のもと大会が無事開催できましたことを、心より御礼申し上げます。

今回の学術大会のメインテーマとして『外傷後のリハビリテーション-オーラルリハビリテーションを再考する-』を掲げました。永年にわたる歯科医療従事者の歯周病予防や歯科治療に関する啓蒙活動の結果、残存歯数は増加し80歳で20歯以上を有する高齢者は50%を超えるようになりました。しかしながら、ブラキシズムに代表される咬合性外傷など様々な外傷的要因による歯牙の喪失は後を絶ちません。

このような状況を踏まえ、外傷的要因による歯牙の喪失への取り組みとして、これまで以上に適切な診断による外傷の予防や、QOLの維持を目的とした外傷による歯牙喪失後のオーラルリハビリテーションを考えていくことが、現在の歯科治療には求められていると思います。

これらの課題に対して基調講演では神奈川県リハビリテーション病院院長、杉山肇先生より『総合リハビリテーションの現状と今後の展望』、特別講演では神奈川県歯科大学横浜センター麻酔科・歯科麻酔科教授、有坂博史先生より『歯科治療中のLife-Threatening events』、東京歯科大学名誉教授・東京歯科大学千葉歯科医療センター客員教授、柴原孝彦先生より『外的刺激が口腔粘膜に及ぼす影響』、教育講演では東京歯科大学名誉教授・特任教授、井上孝先生より『外傷歯の運命・治癒のミクロコスモス』をテーマにご講演いただきます。またシンポジウムでは6名の先生にご登壇いただいて外傷やオーラルリハビリテーションに関する最近の知見も踏まえた専門的な内容を基礎的・臨床的な側面からご講演いただきます。

今回のテーマが日々外傷歯学に向き合う先生方の現場で大いに役立つ実践的な学術大会となることを期待しております。

# 参加される皆様へ

## 総会

### 1) 開催形式

今回はコロナ禍を鑑み、Zoom ミーティングを用いた完全 WEB 開催です。現地での開催はございません。

※視聴には大量のデータ通信を行うため、スマートフォン、タブレット、その他ポータブル端末をご利用の方は容量無制限 Wi-Fi 環境での視聴を推奨いたします。

PC の場合は有線 LAN での接続、または Wi-Fi 環境が良い場所で、スマートフォン、タブレットと同様に容量無制限 Wi-Fi 環境での視聴を推奨いたします。

視聴スマートフォン、タブレット・PC の環境が古いバージョンの場合、正しく動画が表示されない場合がございます。お使いのシステムを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

※通信環境によっては、音ズレ、映像の乱れ等が発生する場合がございます。安定した環境の元でご視聴ください。

発生したデータ通信費用についてはお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

### 2) 開催日時

7月15日（金） 9：00～9：40

### 3) 参加方法

総会の参加者様へメールにて総会専用 URL 及びログイン用パスワードをお送りします。（ご注意：学術大会・認定医更新セミナーの URL とは異なります）

開催日時になりましたらログインをお願いいたします。

## 学術大会

### 1) 開催形式

今回はコロナ禍を鑑み、WEB でのオンデマンド開催です。現地での開催はございません。

※視聴には大量のデータ通信を行うため、スマートフォン、タブレット、その他ポータブル端末をご利用の方は容量無制限 Wi-Fi 環境での視聴を推奨いたします。

PC の場合は有線 LAN での接続、または Wi-Fi 環境が良い場所で、スマートフォン、タブレットと同様に容量無制限 Wi-Fi 環境での視聴を推奨いたします。

視聴スマートフォン、タブレット・PC の環境が古いバージョンの場合、正しく動画が表示されない場合がございます。お使いのシステムを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

※通信環境によっては、音ズレ、映像の乱れ等が発生する場合がございます。安定した環境の元でご視聴ください。

発生したデータ通信費用についてはお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

## 2) 受付

場所：第22回一般社団法人日本外傷歯学会総会・学術大会ホームページ (<https://jadt2022.com/>)  
完全WEB開催のため、大会ホームページ上でお申込み手続きを行ってください。



期間：事前登録3月1日(火)～7月10日(日)  
参加登録7月11日(月)～8月8日(月)

## 3) 参加費

資格区分	学会参加費	
	事前参加登録(～7/10)	参加登録(7/11～8/8)
歯科医師・医師	10,000円	12,000円
歯科医科関連医療従事者	7,000円	9,000円
学部生以下※	無料	無料
非会員	15,000円	17,000円

## 4) 視聴期間

7月16日(土)0:00から8月15日(月)23:59の期間、専用のURLよりいつでも好きなお時間にご覧いただけます。

## 5) 視聴方法

学術大会に事前登録(申込・参加費振込)が確認された方に、メールにて視聴サイトのURLをお送りします。  
(ご注意：総会のURLとは異なります)

メールに記載いたしますID、パスワードをご入力の上ご視聴ください。

※認定更新セミナーにご参加の方は、別途お申込みが必要です。

### ① 7月10日(日)までの事前登録お申込みの方

7月11日(月)までにメール連絡がない場合は大会事務局までメールにてお問合せください。

大会事務局メールアドレス：[info\\_jadt@media-ref.net](mailto:info_jadt@media-ref.net)

### ② 7月11日(月)以降に参加登録をお申込みの方

視聴URLの送信まで1週間ほどかかります。

お申込み日より1週間を過ぎてもメール連絡がない場合は大会事務局までメールにてお問合せください。

大会事務局メールアドレス：[info\\_jadt@media-ref.net](mailto:info_jadt@media-ref.net)

## 6) 日本歯科医師会生涯研修単位

参加申し込み時に日歯生涯研修ICカードのID番号(6桁)を登録された方について事務局にて視聴履歴を確認し、申請手続きを行います。

## 認定医更新セミナー

### 1) 開催形式

今回はコロナ禍を鑑み、WEBでのオンデマンド開催です。現地での開催はございません。

※視聴には大量のデータ通信を行うため、スマートフォン、タブレット、その他ポータブル端末をご利用の方は容量無制限 Wi-Fi 環境での視聴を推奨いたします。

PC の場合は有線 LAN での接続、または Wi-Fi 環境が良い場所で、スマートフォン、タブレットと同様に要領無制限 Wi-Fi 環境での視聴を推奨いたします。

視聴スマートフォン、タブレット・PC の環境が古いバージョンの場合、正しく動画が表示されない場合がございます。お使いのシステムを常に最新の状態にしておくことをお勧めします。

※通信環境によっては、音ズレ、映像の乱れ等が発生する場合がございます。安定した環境の元でご視聴ください。

発生したデータ通信費用についてはお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。

### 2) 視聴期間

7月16日(土)0:00から8月15日(月)23:59の期間、専用のURLよりいつでもお好きなお時間にご覧いただけます。

### 3) 視聴方法

認定医更新セミナーにお申込みされた方に、メールにて視聴サイトのURLをお送りします。(学術大会と同様のURLです。)

メールに記載いたしますID、パスワードをご入力の上ご視聴ください。

※認定医更新セミナーの受講には、学術大会のお申込みと認定更新セミナーのお申込みの両方が必要となります。それぞれのお申込み方法、支払先が異なりますのでご注意ください。

詳細は学会ホームページ (<https://www.ja-dt.org/>) または本大会ホームページ (<https://jadt2022.com/>) よりご確認ください。

※学術大会と同様のURLとなりますが、学術大会のみお申込みの方とはご視聴いただける範囲が異なります。

視聴サイトのURLについて7月11日(月)までにメール連絡がない場合は大会事務局までメールにてお問合せください。

大会事務局メールアドレス：[info\\_jadt@media-ref.net](mailto:info_jadt@media-ref.net)



# プログラム

2022年7月15日（金）9：00～9：40

総会

2022年7月16日（土）0：00～8月15日（月）23：59

「第22回一般社団法人日本外傷歯学会学術大会」

「一般社団法人日本外傷歯学会認定医更新セミナー」

オンデマンド開催

理事長ご挨拶

木村 光孝（九州歯科大学）

大会長ご挨拶

河合 毅師（神奈川県リハビリテーション病院歯科口腔外科・関内馬車道デンタルオフィス）

**基調講演**

『総合リハビリテーションの現状と今後の展望』

杉山 肇（神奈川県リハビリテーション病院）

**教育講演**

『外傷歯の運命・治癒のミクロコスモス』

井上 孝（東京歯科大学）

**特別講演 I**

『外的刺激が口腔粘膜に及ぼす影響』

柴原 孝彦（東京歯科大学）

**特別講演 II**

『歯科治療中の Life-Threatening events –実際の症例と基本的な対処方法–』

有坂 博史（神奈川県歯科大学横浜センター麻酔科・歯科麻酔科）

## シンポジウム

### 『インプラントに対する物理化学的処理の有効性』

三浦 直（東京歯科大学口腔科学研究センター）

### 『前歯部外傷による再植方法による一考察』

佐久間利喜（医療法人社団尽誠会 新栄町歯科医院）

### 『上顎前歯部外傷歯に対して審美的機能回復に配慮したインプラント治療の二例』

洪 性文（医療法人社団湖秋会 吉祥寺セントラルクリニック）

### 『われわれの施設における顎顔面口腔外傷に対する治療戦略』

菅野 勇樹（東京女子医科大学医学部 歯科口腔外科学講座 口腔顎顔面外科学分野）

### 『口腔外科での外傷』

吉田 和正（日本歯科大学附属病院口腔外科）

### 『デジタル技術で製作したダブルクラウンによるオーラルリハビリテーション』

田坂 彰規（東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座）

## 一般口演

### 『外傷歯へのセルフアドヒーズ・レジンセメント：プライマー併用の試み』

入江 正郎（岡山大学学術研究院医歯薬学域 生体材料学分野） 他

## 一般社団法人 日本外傷歯学会認定医更新セミナー

### 認定医担当理事ご挨拶

曾我 富美雄（九州歯科大学）

### 『外傷歯の歯内療法—歯と歯髄の保存のためのマネジメント—』

興地 隆史（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科）

### 『乳歯の外傷について』

八若 保孝（北海道大学大学院歯学研究院）





基調講演

教育講演

特別講演 I

特別講演 II



## 総合リハビリテーションの現状と今後の展望

杉山 肇

神奈川県総合リハビリテーション病院 院長



神奈川県総合リハビリテーションセンターは、福祉と医療の連携により、医学・職業・社会にわたる総合的なリハビリテーションを提供する施設です。昭和48年に神奈川県により設置され、他の一般的な機関では対応困難な対象に対し、高度で専門的なリハビリテーションの提供を行っています。設立当時は2つの病院がありましたが、時代の変遷とともに現在は1病院に集約されて、施設の規模も縮小されてきました。しかし、基本的な機能は変わらずにその時代に必要とされている機能を追加してきています。

センターでは、医師や看護師の他、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、職業指導員、体育指導員、公認心理士、ソーシャルワーカー、リハ工学エンジニア、研究員といった多くのリハビリテーションの専門職種が連携してチームアプローチにより関わることで課題解決やニーズの実現へ向けた支援を行っています。また、病院は多くの診療科による総合的な診療を行い、脊髄障害などの障害特性から生じる合併症治療や、障害がある方への一般医療の提供を行ってきています。歯科医療においても従来5名の歯科医師が在籍して、外傷歯学や障がい者歯科を中心に神奈川県の第3次医療機関として診療していましたが、入院患者さんの変化とともにニーズが減少したことや人材確保が難しい問題もあり、現在は常勤歯科医師が不在の状態となっています。

このように、リハセンターの現状も大きく変化してきていますが、病院では周術期管理や口腔ケアによる肺炎予防など歯科医師との連携が重要視されており、直近に迫った超高齢化社会を迎え、その必要性はさらに大きくなると考えます。外傷歯学や障がい者歯科など専門的な医療の必要性はもとより、口腔ケアも周術期管理などのアプローチにより患者さんを社会に戻すことが（リハビリテーション）、これからの医療にとって重要なテーマであり、医科と歯科のさらなる連携が重要となると考えています。

### 略歴

昭和57年 3月 東京慈恵会医科大学卒業、4月より整形外科に入局  
(昭和60年4月～昭和62年3月、国内留学：東京工業大学精密工学研究所)  
昭和62年 3月 東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 修了  
(昭和63年1月～平成元年9月、米国留学：DePaul Biomechanical 研究所)  
平成6年12月 東京慈恵会医科大学整形外科 講師  
平成17年 8月 山梨大学大学院整形外科 准教授  
平成22年 1月 神奈川県総合リハビリテーション病院 整形外科 部長  
平成25年 4月 神奈川県総合リハビリテーション病院 副病院長  
(兼：神奈川県総合リハビリテーションセンター 研究部長)  
平成26年10月 東京慈恵会医科大学客員教授  
平成28年 4月 神奈川県総合リハビリテーション病院 病院長

### 所属学会

日本股関節学会 [理事] (理事長)、日本骨・関節感染症学会 [幹事]、神奈川県病院協会 [理事]、厚木病院協会 [会長]、日本関節鏡学会 (JOSKAS) [評議員]、日本人工関節学会 [評議員]、日本関節病学会 [評議員]、日本小児整形外科学会 [評議員] など

## 外傷歯の運命・治癒のミクロコスモス

井上 孝

東京歯科大学 名誉教授  
東京医学技術専門学校 校長



創傷の治癒は一次治癒と二次治癒に分類され、一次治癒は完全再生を意味するので、口腔内に起こる創傷は、大部分が二次治癒である。二次治癒は創面が大きく、感染を伴い、最終的には瘢痕組織を残して治癒する特徴がある。歯科医師は口腔内に起こる治癒をできる限り一次治癒に近づけることを使命とする。治癒の為に主役は細胞である。通常の結合組織を治すものは線維芽細胞で、歯槽骨を治すのは骨膜や骨髄の骨芽細胞、象牙質を治すのは歯髓細胞、そしてセメント質を治すためには歯根膜細胞が重要となる。しかしながら如何に細胞が供給されようとも、治癒を阻害する因子を排除しなければ治癒は得られない。また、エナメル質は再生する細胞がないので、将来的にはiPS細胞などの応用が期待される。今回の講演では、外傷を受けた歯牙がどのように治癒する、そして外傷の処置にあたり必要な知識について解説する。

### 略歴

1978年5月	東京歯科大学・助手（病理学第二講座）	2008年4月	東京歯科大学口腔科学研究センター・副所長
1982年4月	東京歯科大学・講師（病理学第二講座）	2009年4月	東京歯科大学口腔科学研究センター・所長
1983年9月	カナダ・トロント大学歯学部・客員助教授 (1985年8月まで)	2009年1月	鄭州大学口腔医学院・名誉院長、 同研究所・名誉所長
1988年6月	東北歯科大学・非常勤講師	2010年6月	東京歯科大学大学院・研究科長
1991年7月	東京歯科大学・助教授（病理学講座）	2011年4月	東京歯科大学・教授 (臨床検査病理学講座：講座統合による)
1994年1月	アラバマ大学歯学部・客員研究員 (1994年4月まで)	2011年4月	大阪大学歯学部・非常勤講師
1994年4月	九州大学歯学部・非常勤講師	2011年4月	新潟大学歯学部・非常勤講師
1995年6月	東京歯科大学千葉病院・臨床検査室長	2012年1月	東京理科大学・客員教授
1998年4月	新潟大学歯学部・非常勤講師	2013年6月	東京歯科大学千葉病院・病院長
1998年6月	東京歯科大学千葉病院・臨床検査部長	2013年6月	東京歯科大学歯科衛生士専門学校・校長
2001年5月	東京歯科大学・教授（臨床検査学研究室）	2016年4月	広島大学・客員教授
2002年4月	広島大学歯学部・非常勤講師	2019年4月	東京歯科大学・名誉教授
2003年4月	岡山大学医学部・非常勤講師	2019年4月	技術専門学校・副校長、臨床検査技師科科长
2004年4月	日本大学歯学部・非常勤講師	2022年4月	東京医学技術専門学校・校長 歯科衛生士科科长・臨床検査技師科科长
2004年6月	東京歯科大学千葉病院・副病院長		

### 所属学会

日本病理学会、日本口腔外科学会、IADR、日本口腔インプラント学会、日本歯周病学会、日本歯科医師会、日本歯科医学会、東京歯科大学学会名誉会員、日本口腔検査学会名誉会員、日本外傷歯学会名誉会員、日本口腔病理学会名誉会員、日本再生歯学会名誉会員、世界歯科連盟名誉会員

### 保有資格

歯科医籍（第74591号）、死体解剖資格認定医（第4332号）、臨床衛生検査技師免許（第39133号）、外国人臨床修練指導医認定（第349号）、日本病理学会認定・口腔病理専門医・指導医（第29号）、日本感染症学会認定・ICD感染制御専門医（1862号）、日本インプラント学会認定・基礎系指導医（5号）、日本口腔検査学会認定・認定医（1号）

# 特別講演 I

## 外的刺激が口腔粘膜に及ぼす影響

柴原 孝彦

東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座  
客員教授、同大学名誉教授



日本は超高齢社会を迎え長寿国家として世界一を維持していますが、生物学的寿命を全うしたヒトが必ずしも健康体ではなく健康寿命との間に9-12年があり、この短縮が次の課題となっています。そして国は歯科界に健康寿命の延伸のため、口腔機能を保持することで積極的に介入することを求めています。小児の口腔機能発達不全症や高齢者の口腔機能低下症の対策が重視されており、硬組織だけでなく軟組織、口腔粘膜にまで目を向ける必要があります。

加齢とともに口腔粘膜の組織構造は変化し、外的刺激を受け粘膜上皮には酸化と劣化が起こります。また小児の発達不全症は歯列と顎位にも影響を来し、口腔粘膜に口内炎を惹起する場合があります。粘膜の劣化と難治性の褥瘡が口腔がんを発症させることも散見されます。

今回の講演では、日本の口腔がんの現状を解説すると共に、発生原因についても「外的刺激」に焦点をあて仮説をご披露いたします。

### 略歴

昭和 54 年 3 月 東京歯科大学卒業  
昭和 59 年 6 月 東京歯科大学大学院歯学研究科(口腔外科学専攻)修了  
昭和 59 年 12 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 助手  
昭和 61 年 7 月 国立東京第二病院歯科口腔外科に出向  
平成 元年 8 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 講師  
平成 5 年 6 月 学命によりドイツハノーバー医科大学に留学  
平成 12 年 6 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 助教授  
平成 16 年 8 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 主任教授  
平成 22 年 6 月 東京歯科大学千葉病院副院長(現、千葉歯科医療センター)  
令和 元年 6 月 東京歯科大学口腔がんセンター長(平成 24-25 年、令和 2 年)  
令和 2 年 4 月 東京歯科大学 名誉教授  
東京歯科大学千葉歯科医療センター 客員教授

### 所属学会

日本口腔外科学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔腫瘍学会、日本有病者歯科医療学会、日本口腔科学会、日本老年歯科医学会、日本小児口腔外科学会、日本顎顔面外科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本 ICD 学会など

### 保有資格

日本口腔外科学会専門医・指導医、日本老年歯科医学会専門医・指導医、日本がん治療機構暫定教育医、日本有病者歯科医療学会指導医、日本口腔腫瘍学会口腔がん指導医、日本小児口腔外科学会指導医、日本口腔科学会認定医

## 特別講演 II

---

### 歯科治療中の Life-Threatening events — 実際の症例と基本的な対処方法 —

有坂 博史

神奈川歯科大学 横浜センター麻酔科  
歯科麻酔科教授



わが国では、高度高齢社会を迎え、また医科医療の急激な進歩に伴い 2,30 年前には考えられなかったような重症な患者が、病気を何とかコントロールしながら日常生活を過ごし（しかし予備能力は低い）歯科外来を日常的に受診する時代になっている。また訪問歯科治療も課題である。訪問歯科治療においては、対象が全身疾患を合併している高齢者である。しかも、歯科治療室で行われる歯科治療に比較して大きな制約を受けており負っているリスクは大きい。さらに訴訟社会の問題も急増加することが予想される。今後、歯科治療はますますリスクの高い緊張を伴う医療となるだろう。

講演では、これまでに歯科治療中に経験した life-threatening events 数例を詳細に紹介し、その基本的な対処方法、また危機的な状況に遭遇した時に必要な血圧、酸素飽和度などのモニターの最重要ポイントを簡潔に紹介したい。

#### 略歴

1990 年 東京歯科大学卒業  
1991 年 弘前大学医学部入学（一般入試）  
1997 年 弘前大学医学部卒業（麻酔科：松木明知教授）  
1997 年 慶應義塾大学医学部麻酔科教室入局（武田純三教授）  
1999 年 都立清瀬小児病院麻酔科  
2000 年 国立東京医療センター麻酔科  
2001 年 さいたま市立病院麻酔科  
2002 年 慶應義塾大学医学部麻酔科助手  
伊勢慶應義塾大学病院麻酔科部長  
2003 年 神奈川歯科大学麻酔科教室  
2014 年 神奈川歯科大学横浜センター麻酔科・歯科麻酔科科長  
神奈川歯科大学附属病院いびきと睡眠時無呼吸外来長  
神奈川歯科大学麻酔科学講座高度先進麻酔科学分野大学院教授

厚生労働省認定麻酔科標榜医

日本麻酔科学会麻酔科専門医・麻酔科指導医

日本麻酔科学会、日本臨床麻酔学会、日本集中治療医学会、日本睡眠学会、日本歯科麻酔学会、日本睡眠歯科学会

# シンポジウム





## インプラントに対する物理化学的処理の有効性

三浦 直

東京歯科大学 口腔科学研究センター



インプラント材料に対する超親水性処理は、生体反応の活性やオッセオインテグレーションを亢進する。超親水性は、材料表面への化学的あるいは物理学的処理により得られる。我々が今まで検討し報告してきた、超親水性インプラントの、骨や軟組織への反応や抗菌性について、プラズマ照射を中心とした表面処理に制御される現象を紹介する。

プラズマ処理で得られる超親水性は大気中で急速に失われるが、水中では維持される。これはチタン表面に存在する炭素量、および水酸基の量にも影響される。その他さまざまな生体反応に有効な処理といえる。

超親水性表面は、タンパク吸着を促進する。骨組織接触部位における細胞の接着、増殖や分化にも効果的である。軟組織接触部位において、細胞接着や伸展の程度も向上する。材料への細菌付着をも抑制する効果があることが明らかになっている。

インプラントに対する超親水性処理は、臨床的に有効なツールになると考えられる。

### 略歴

- 1994年3月 東京大学大学院農学系研究科博士課程修了
- 1994年3月 東京大学 博士（農学）取得
- 1994年4月 東京歯科大学微生物学講座 助手
- 2000年9月 東京歯科大学微生物学講座 助教授
- 2001年4月 東京歯科大学化学研究室 助教授
- 2005年1月 東京歯科大学口腔科学研究センター 助教授
- 2007年4月 東京歯科大学口腔科学研究センター 准教授（職名変更）
- 2022年 現在に至る

### 所属学会

日本農芸化学会、東京歯科大学学会、日本口腔インプラント学会、日本歯周病学会

### 前歯部外傷による再植方法による一考察

佐久間 利喜

医療法人社団尽誠会 新栄町歯科医院  
理事長・院長



一昔前、「戦略的抜歯」という名の下に保存可能な歯が多数失われ、インプラント周囲炎という新たな疾病を多く生む結果となった。歯科医師としての矜持とは何か？健康な歯と周囲組織を維持し長期間機能させることではないかと常々考えている。歯の移植、再植は天然歯と周囲組織を保存する最後の砦であり、その後のインプラント治療へのスムーズな移行が術者にとって最大限考慮しなければならない事でそのことが患者からの信頼と尊敬の念を得る最良の策であると思っている。今回は20年以上に渡り患歯を見続け、今後も診るであろう私の家族の症例であり、歯根膜の再生能力の偉大さを改めて感じたケースである。決してインプラント治療を否定するものではなく、その前に我々が考え、取り組むべきことを提示している。永久歯が永久に維持できるために色々な戦略があり、その選択肢の一つとしてこの方法を皆さんと共有したいと思っている。

#### 略歴

岩手医科大学歯学部卒  
新潟大学大学院卒

日本歯科保存学会  
日本歯内療学会  
日本顕微鏡歯科学会  
日本遠隔医療学会  
日本臨床歯科学会  
日本口腔インプラント学会  
日本臨床 CAD/CAM 学会

### 上顎前歯部外傷歯に対して審美的機能回復に配慮したインプラント治療の二例

洪 性文

医療法人社団湖秋会  
吉祥寺セントラルクリニック 院長



口腔外傷に対しては、周囲組織の損傷の確認、感染予防、機能回復など配慮せねばならない事は多岐に渡る。さらに上顎前歯部は、口腔外傷の中でも脱臼や破折などトラブルが多い部位であり、審美面での回復にも我々歯科医師は配慮せねばならない。

上顎前歯部審美領域のインプラント治療においては、骨形態、歯根形態、軟組織の環境に配慮した診査診断、処置方針を立てなければ審美的な機能回復はおこなえない。外傷歯の抜歯前、抜歯後にどのような配慮をする事により、治療部位周囲組織の温存、造成を図れるのか。自験例を通じて上顎中切歯の歯根破折歯および外傷後のアンキローシス歯に対して、ソケットシールドテクニックなどでバッカルボーンプリザーベーションを併用したインプラント治療にて機能・審美回復をおこなった二症例を供覧する。

#### 略歴

1993年 松本歯科大学 卒業  
日本大学 歯学博士号取得  
吉祥寺セントラルクリニック院長

CGF・AFG コース（コアフロント）インストラクター  
OSSTEM IMPLANT AIC ディレクター

### われわれの施設における顎顔面口腔外傷に対する治療戦略

菅野 勇樹

東京女子医科大学医学部 歯科口腔外科学講座  
口腔顎顔面外科学分野



東京女子医科大学病院は二次救急医療機関及び三次救命救急センターとして、あらゆる分野の重篤な救急を要する患者への医療を24時間提供している。さらに、当科においては顎顔面口腔領域の外傷をはじめとした一次救急症例に対しても、当番医を設けて24時間体制で対応を行っている。当院の所在地である新宿区河田町は、新宿の歓楽街より約1kmの近距離に位置していることから、新型コロナウイルスの世界的流行による外出人口の減少によって症例の絶対数は減少しているものの、特に暴力などによる外傷症例が多いのも特徴であるといえる。

本シンポジウムでは、東京女子医科大学病院歯科口腔外科における顎顔面口腔外傷症例に対する治療に関して供覧し医学部附属病院歯科口腔外科の特色について報告する。さらに、顎顔面口腔領域における一次救急症例、二次救急症例、三次救急症例について考察し、それぞれの症例に対する治療戦略について報告する。

#### 略歴

- 2005年 3月 東北大学歯学部卒業
- 2005年 5月 東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科 研修医
- 2007年 4月 東京大学医学部附属病院 救急部 医員
- 2007年 8月 東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科 医員
- 2009年 11月 東京大学医学部附属病院 顎口腔外科・歯科矯正歯科 助教
- 2010年 4月 日本口腔外科学会認定医
- 2010年 8月 日本先進インプラント医療学会専門医
- 2015年 1月 日本再生医療学会 再生医療認定医
- 2016年 4月 日本有病者歯科医療学会専門医
- 2016年 8月 日本先進インプラント医療学会指導医
- 2016年 10月 群馬大学医学部附属病院 歯科口腔・顎顔面外科 助教
- 2017年 1月 医学博士（埼玉医科大学形成外科）
- 2017年 6月 日本口腔科学会認定医
- 2018年 10月 東京医科大学 口腔外科学分野 助教
- 2020年 11月 東京女子医科大学 歯科口腔外科学講座 口腔顎顔面外科学分野 准講師

### 口腔外科での外傷

吉田 和正

日本歯科大学附属病院 口腔外科



口腔外科での外傷すなわち顎・口腔領域の外傷は、大きく分けると軟組織の損傷、歯および歯槽の外傷、顎骨骨折の3つに分かれるといえよう。外傷とは、交通事故やスポーツ事故などによる、対物衝突、転倒、転落、殴打などの衝撃を意味する。

その中でも細かく分類すると軟組織の外傷は、歯肉の損傷、口蓋の損傷、口底の損傷、舌の損傷、頬粘膜の損傷、口唇および顔面の損傷、その他に分かれる。

歯および歯槽の外傷では、この学会に所属する先生方が専門とされる歯の打撲・歯の脱臼。顎骨骨折では、交通事故、スポーツ、作業事故、衝突、転落、殴打などによる下顎骨折がよく散見される。その他にも、上顎骨骨折、頬骨弓骨折、眼窩底骨折、関節頭骨折、顎骨多発性骨折等がある。

今回は、軟組織の損傷、歯および歯槽の外傷、顎骨骨折について、実際の臨床写真を用いて治療、経過、その後の後遺症についても含めて詳しく解説したいと考えている。このシンポジウムを通して、実際の外傷歯学会の会員の先生方の臨床の知見に少しでもお役に立てれば幸いである。

#### 略歴

- 1997年 日本歯科大学歯学部 卒業
- 2002年 日本歯科大学歯学部歯学研究科卒業（口腔外科学）
- 2002年 日本歯科大学歯学部附属病院 医員
- 2004年 日本歯科大学歯学部附属病院 助教
- 2013年 日本歯科大学歯学部附属病院 講師
- 2016年 日本歯科大学附属病院 口腔外科 統括医長
- 2017年 日本歯科大学附属病院 歯の細胞バンク外来長
- 2018年 日本歯科大学附属病院 准教授

#### 所属学会資格等

博士（歯学）

- ・（公社）日本口腔外科学会認定 口腔外科認定医・専門医・指導医
- ・日本有病者歯科医療学会 認定医・専門医・指導医・代議員
- ・日本先進インプラント学会専門医・指導医・評議員
- ・国際インプラント学会（WCOI）認定ドクター・評議員
- ・日本メタルフリー歯科学会 認定医・評議員

### デジタル技術で製作したダブルクラウンによるオーラルリハビリテーション

田坂 彰規

東京歯科大学  
パーシャルデンチャー補綴学講座



歯の欠損で咬合崩壊した症例は咬合性外傷で残存歯に動揺を伴うことがある。補綴治療で動揺歯を連結固定する必要がある場合には、固定性もしくは可撤性補綴装置の2つの手段から選択することが求められる。クラウンブリッジによる固定性補綴装置で多数の残存歯を一次固定した場合、連結されている残存歯が保存不可能となった際には、その対応に苦慮する。ダブルクラウンを支台装置とした可撤性補綴装置では、残存歯を二次固定でき、支台歯喪失後も比較的簡便な修理で引き続き使用することが可能である。また、インプラントを支台とすることもできるため、ヨーロッパを中心に天然歯とインプラントを連結した可撤性補綴装置の応用が進んでいる。近年、デジタル技術の進歩により、ダブルクラウンの製作方法および使用材料が変化しつつある。本講演では、デジタル技術で製作したダブルクラウンを用いてオーラルリハビリテーションを実施した症例について供覧したい。

#### 略歴

- 2003年3月 東京歯科大学卒業
- 2003年4月 東京歯科大学大学院歯学研究科 歯科補綴学専攻 入学
- 2007年3月 東京歯科大学大学院歯学研究科 歯科補綴学専攻 修了
- 2007年4月 東京歯科大学千葉病院（現・千葉歯科医療センター）レジデント
- 2008年4月 東京歯科大学有床義歯補綴学講座（現・老年歯科補綴学講座）助教
- 2013年4月 東京歯科大学有床義歯補綴学講座 講師
- 2015年4月 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座 講師
- 2018年4月 ドイツ連邦共和国ハイデルベルグ大学附属病院・補綴科 visiting professor
- 2019年4月 東京歯科大学水道橋病院・補綴科 医局長
- 2020年4月 東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座 准教授

#### 所属学会

日本補綴歯科学会専門医・指導医、日本老年歯科学会専門医・指導医、日本口腔インプラント学会専修医

# 一般口演





## 外傷歯へのセルフアドヒーシヴ・レジンセメント：プライマー併用の試み

○入江 正郎<sup>1)</sup>, 園井 教裕<sup>2)</sup>, 関野 貴大<sup>3)</sup>

1) 岡山大学学術研究院医歯薬学域 生体材料学分野

2) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科附属医療教育センター

3) 奥羽大学歯学部 成長発育歯学講座

### 【目的】

セルフアドヒーシヴ・レジンセメント（SAR）は、性質が向上したが、歯質接着強さは、プライマーを併用するアドヒーシヴ・レジンセメント（AR）に比べて劣る。外傷歯処置への提案として、SAR の接着性向上を期待し、ヒト象牙質を用い、プライマー併用効果を検討した。

### 【材料と方法】

SAR は新規の RelyX Universal Resin Cement (RURS, 3M) を使用、プライマー併用効果を見るため新規処理材：Scotchbond Universal Plus Adhesive (SUPA, 3M) を用いた。ヒト湿潤象牙質を使用し（岡大研究倫理審査専門委員会：承認番号 研 1901-036）、接着強さを測定した。

### 【結果と考察】

RURS の接着強さは、SUPA の併用で無処理と比較し有意に向上した。プライマー併用で接着力の高まる接着界面が得られた可能性がある。



## 協催企業・団体一覧

### 広 告

---

株式会社 DENTAL JAPAN 侍

株式会社ブレンベース

株式会社ガイドデント

AQB・ABI インプラント株式会社

株式会社 WAZAWAZA

有限会社メディア・レフ

株式会社佐藤歯研

アサヒプリテック株式会社

株式会社エムディティ・インターナショナル

株式会社杏友会

有限会社ラフィーネ

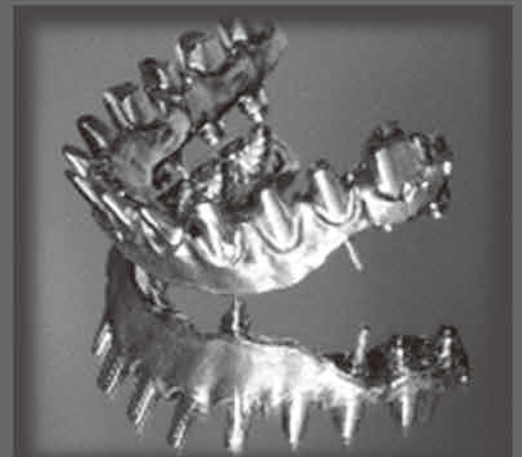


株式会社

Dental Japan 侍

MR.CAD CAD/CAMセンター

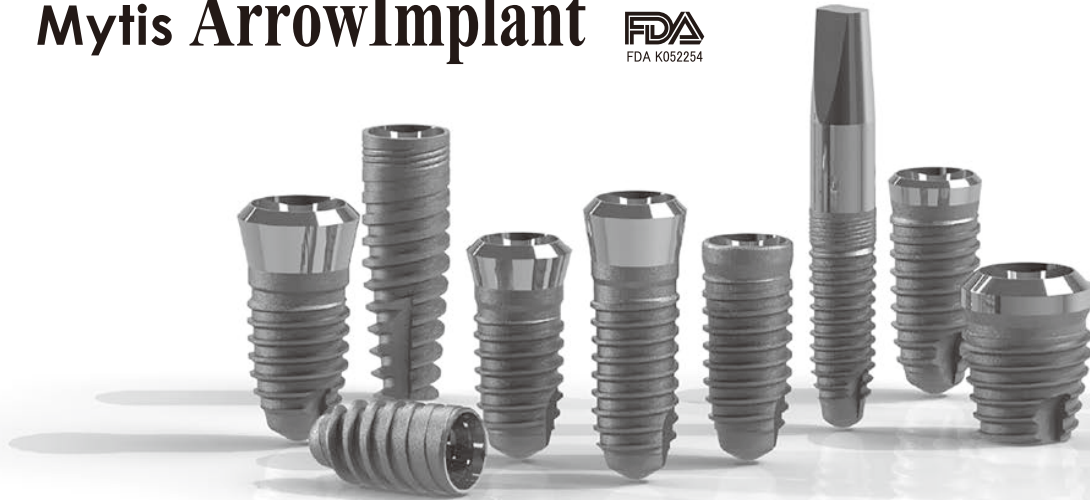
大阪市中央区博労町1丁目8-1 Will博労町ビル12F



安心と信頼を築く技術、確かな品質 純国産インプラント

# マイティス・アローインプラント

## Mytis Arrow Implant



マイティス・アローインプラントは科学的生体力学に基づいた、細部までの丁寧な設計・デザイン。機能・形態ともに生体親和性に優れた純国産インプラントです。

高度管理医療機器届出番号：21500BZZ00187000

### マイティスアローインプラントシステム

当社では、 $\beta$ -TCP を材料とした製品を多数製造しており、特に HA・TCP でブラスト表面処理したインプラントと $\beta$ -TCP 骨造成材、 $\beta$ -TCP 歯面研磨材は共に使用することで相乗効果を発揮します。これらの製品はすべて自社生産、国産品で、米国 FDA を取得済みです。

Cure

歯を治す

Recovery

骨を造る

Mytis Arrow Implant System

ArrowBone- $\beta$ -Dental (骨補填材)

Maintenance

歯と骨を守る

$\beta$ パウダー (歯面研磨材)

### 骨置換性に優れた $\beta$ -TCP骨補填材



吸収性歯科用骨再建インプラント材

## ArrowBone- $\beta$ -Dental™

アローボーン- $\beta$ -デンタル

高度管理医療機器(クラスIV)



医療機器承認番号：22500BZX00553000

### $\beta$ -TCPの球状粉末歯面研磨材



歯面研磨材

## β-POWDER

βパウダー

一般医療機器



医療機器届出番号：13B1X00145000005



製造販売元

株式会社 ブレインベース

【本社】〒140-0014 東京都品川区大井 1-49-15 YK-17 ビル 6 階

TEL.0120-25-4929 FAX.0120-4929-37 <http://www.brain-base.com>





第三者保証機関 患者さま・歯科医院向け

# ガイドデント保証システム

インプラント10年保証

審美歯科治療5年保証

おかげさまで認定歯科医療機関

**2,200** 医院 突破!!



## ■ 保証を“カタチ”に

ガイドデント保証システムは、あいまいになりがちな治療後のフォロー体制を第三者保証機関として、しっかりとバックアップいたします。



## ■ 充実したバックアップ体制

最適な対応やアプローチができるようにするための導入ガイドやマニュアルの充実化、また弊社スタッフによる導入説明の実施などをおこなっております。



安心・安全をカタチに



第三者機関が  
バックアップ



他医院との  
差別化



サイトによる  
医院のご紹介



患者さまへの  
アフターフォロー



治療リスクの  
軽減



患者さまの  
リコール対策

## インプラント治療

19,470円(税込)~/本

### ・フルカバー保証

インプラント+上部構造  
保証限度額：300,000円まで  
免責期間：1~3年までプランにより選択可能

### ・上部構造保証

上部構造のみ  
保証限度額：100,000円まで  
免責期間：1~3年までプランにより選択可能

## 審美治療

※自費治療のみ 4,070円(税込)~/本

### ・審美(クラウン)5年保証

保証限度額：最大100,000円まで 免責期間：90日

第22回  
日本外傷歯学会総会  
学術大会

限定キャンペーン

初回登録料 165,000円(税込) を



**55,000**円(税込)

サービスにつきまして

お申し込み・説明希望・資料請求等は  
右記までお気軽にお問い合わせください。

院内勉強会・スタディグループにてプレゼンも承っております。

お問い合わせ先

(平日 10:00 ~ 19:00)

TEL. 03-5790-5260

ガイドデント

検索

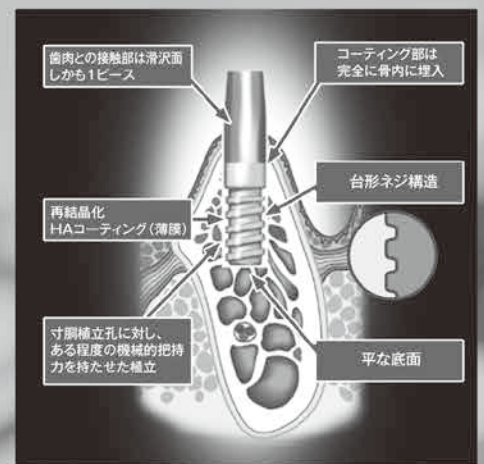
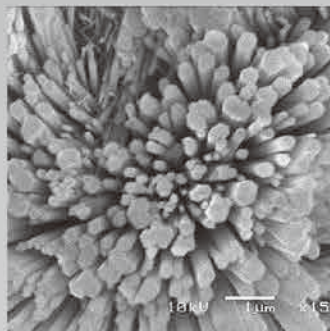
速い！骨との結合が速い！  
強い！結合力が強い！



新生骨再生状態



HA再結晶化 歯根部SEM像



Simple is the Best

シンプル&  
確実な手技で

HAインプラントは、HAの純度、HA結晶性だけでなく形状もHAの力を決定する重要な要素。インプラント体周囲の骨の生成においては、骨芽細胞がHA結晶の先端に付着し生体内でHAを造成する過程でエピタキシャルな成長をし、結晶性に連続性のある、より強固なインテグレーションを実現します。AQB歯根部の再結晶化HA表面は、まるでイガグリのような形状。ほぼ100%の結晶化度で理想的な結晶状態を有します。この表面形状がAQBの早期かつ強固な骨結合を可能にする証なのです。

販売名:AQBインプラント高度管理医療機器 承認番号20500BZZ01172000  
販売名:AQB ABIインプラント高度管理医療機器 承認番号30100BZX00252000

資料請求先

AQB・ABI インプラント株式会社

TEL 03-5839-2541 FAX 03-3862-1264  
E-mail info@aqb.jp URL <https://www.aqb.jp>





いい治療はいい患者さんに選ばれる

# ココシカ!

## 口コミや順位でなく “実績”で選ばれる 歯科ポータルサイト

症例だから出会える見込み患者がいます。

そのうち層

今すぐ層

まだまだ層

お悩み層

症例を検索するのは「悩み」はあるけど、「まだ歯医者さんは探してない」そんな見込み患者さん。彼らはきっかけを探しています。明確な目的を持った見込み患者たちは「これなら聞いてみたい!」と実績を持った先生だから予約を取ります。

### 結論

症例を見て患者さんは来ます。

すでに多くの先生が参加しています!



関内馬車道デンタルオフィス  
河合先生



若林歯科医院  
若林先生



白数デンタルオフィス  
白数先生



赤坂クレール歯科クリニック  
吉田先生



なかむら歯科  
神山先生



大塚歯科  
大塚先生

優れた症例を  
多数お持ちの先生方へ  
**その症例、**  
患者さんが見たがっています。

担当：前田

03-6459-4056

hiromu.maeda  
@wazawaza.work

ココシカ! WEB サイト



🔍 ココシカ 症例

掲載ご相談フォーム



WAZAWAZA

運営会社  
株式会社 WAZAWAZA



オリジナルのデザインと構成で  
医院の想いと情報を伝えます



## 歯科医院をトータルプロデュース

様々なメディアツールを使用した PR 方法のご提案から、看板・内装、清掃、予約システムまで歯科医院様のご要望に、幅広く対応させていただいております。



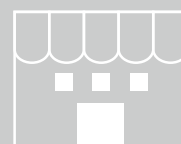
WEB 制作



印刷物



看板・サイン



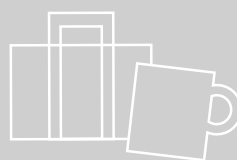
内装・外装



院内清掃



ロゴ制作



ノベルティ



イベント企画

**Media Ref.**  
有限会社 ナディア・レフ

東京オフィス 〒104-0033 東京都中央区新川 2-21-10 リードシー八丁堀 2F  
TEL.03-3297-4020 FAX.03-3297-4021

姫路オフィス 〒670-0952 兵庫県姫路市南条 10-2 T-BLD 南条 3F  
TEL.079-221-7225 FAX.079-221-7226

E-mail : [info@media-ref.net](mailto:info@media-ref.net) / URL : <https://www.media-ref.net>

基本に忠実に技工物を製作しております。



佐藤歯研  
Dental Labo

〒153-0065  
東京都目黒区中町 2-44-11

TEL 03-5704-4518  
FAX 03-3714-4186

sato.shiken@island.dti.ne.jp



# その高品質 折り紙付き。



アサヒメタルアカウントシステム

LBMA、LPPMグッドデリバリーバー認定

SDGs取組実施

アサヒプリテックは、LBMA、LPPMのグッドデリバリーバーとして認定を受け、その品質は世界のマーケットで高く評価されています。  
また、お預かりした金属の分析から売却までをWeb上で安全に運用できる「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。



ASAHI PRETEC

## アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー 11F  
TEL: 03-6270-1820 FAX: 03-6270-1825 URL: <https://www.asahipretec.com/>

営業所 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄



# MDT International Inc.

株式会社エムディティ・インターナショナルは、  
韓国最初・世界で4番目のA型ボツリヌストキシン製剤の製造会社である  
Medytox Inc.の100%子会社として2015年に設立されました。

日本においては、  
Medytoxのボツリヌストキシン製剤とヒアルロン酸フィラー製剤を中心に  
輸入代行をおこなっております。

## ～製品に関するお問い合わせはこちら～

株式会社エムディティ・インターナショナル  
東京都港区芝大門2-6-6 VORT芝大門10F  
Tel : 03-6452-9606 Fax : 03-6452-9608  
Mail : info@mdt-international.co.jp  
www.mdt-international.co.jp

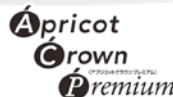
## 「患者さんの健康」 それが私たちのテーマです。

色を見る。形を整える。自然な美しさを再現するため。

仕上がり心に砕く。適合を調整する。確実に機能を回復するため。



EstheShot  
Bright



株式会社杏友会は、  
日常の診療を支えるインレー・クラウンから、審美的治療のオールセラミックス、  
さらに高齢化社会に向けてのより機能的なデンチャー、  
そして、最新設備のCAD/CAMを導入して、  
補綴物の機能と調和を守る総合デンタルラボラトリーです。

ケースデザイン  
相談

的確な  
アドバイス

歯科医院

発注

歯科技工  
ラボラトリー  
杏友会

技工物納品



株式会社 杏友会

本社 〒168-0081 東京都杉並区宮前1-15-8

TEL. 03 (3334) 2621(代)

神奈川支社 〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴間本町4-52-6 TEL. 042 (740) 3200(代)

<http://www.kyoyukai.co.jp>

杏友会



# 患者様に喜ばれる 補綴物の提供

自費専門デンタルラボラトリー

有限会社ラフィーネ

〒901-2132

沖縄県浦添市伊祖2-9-3 R. BL3F

TEL・Fax 098-876-8309

✉ raffine\_isa@wonder.ocn.ne.jp

第22回一般社団法人日本外傷歯学会総会・学術大会

プログラム・抄録集

大会長：河合 毅師

準備委員長：塚本 亮一

事務局長：駒井 啓一

大会事務局：〒104-0033 東京都中央区新川2-21-10

リードシー八丁堀2F（有限会社メディア・レフ内）

tel：03-3297-4020

e-mail：info\_jadt@media-ref.net

編集・印刷：有限会社メディア・レフ



